おきたま 置賜総合支庁ニュース 2018 6

県ホームページ（URL http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo）でもご覧頂けます。

平成30年6月1日発行　発行元 / 山形県置賜総合支庁　No.158

置賜公園ハーブガーデンフェア（川西町） 山形県内最大規模のハーブ園で、約100種類のハーブが香り咲きます。６月16日（土）から７月８日（日）のフェア期間中はクラフト体験やワークショップなど企画が盛りだくさんです。　（地域産業経済課観光振興室）

特　集

福島で置賜の農畜産物と観光をＰＲ ～行ぐべ山形！おきたま産直フェア～

東北中央自動車道（福島・米沢間）の開通を契機に、置賜産農畜産物の消費拡大及び置賜地域への観光誘客を促すため、5月19日、福島市で開催された「2018ふくしま手づくりマルシェ」（来場者約3万人）において、置賜地域の農畜産物及び観光の魅力をPRしました。

イベントでは、おかひじきや、アスパラガスなど旬の農産物のほか、山形グミなどの農産加工品を販売しました。

旬の農産物や農産加工品を販売

ステージでは、「やまがた愛の武将隊」が、国の地理的表示保護制度（GI）に登録された米沢牛をはじめ、温泉、歴史、グルメなどの魅力を紹介し、置賜地域への来訪を呼びかけました。「つや姫レディ」は、今年の秋にデビューする雪若丸など、山形の美味しいお米をPRしました。

会場内では、観光パンフレットなどを配布するとともに、「ペロリン」がお客様と交流し、多くの方に置賜地域の魅力を発信しました。

問 農業振興課　0238-26-6051

トピックス　知事のほのぼの訪問

問 総務課　0238-26-6006

5月7日に、知事のほのぼの訪問が小国町の自然館で開催されました。自然館は、小国町中心街の空き家を利用して平成30年1月にオープンした作業所併設の店舗で、町内の山林に自生するクロモジで作ったお茶の袋詰めなどの作業や販売をしています。

この日は運営するNPO法人「まんまる」の関係者が集い、吉村知事は、「『まんまる』の皆さんは、障がいのある方や高齢の方も地域で自立した生活ができるように支援していると聞いています。山形県は共生社会の実現を目指しており、就労、農福連携に力を入れていきたいと思っています。」とあいさつしました。

「まんまる」や「白い森のまちづくり研究会」では現在、クロモジの入浴剤などへの加工に向けて、成分抽出技術の研究開発を衝撃波応用技術研究所と共同で進めているとのことで、農福連携や、やまがた森林ノミクスの先進事例として注目です。

懇談する吉村知事

トピックス　知恵袋委員会の委員委嘱状交付式

問 総務課連携支援室　0238-26-6019

5月14日に、知恵袋委員会の委員委嘱状交付式を、県庁講堂で開催しました。

県では、子育て・人づくり、安全安心社会、観光交流など、推進する７分野において長年の経験に基づいた知恵や知識を県政に反映させていくため、知恵袋委員会を設置しています。

吉村知事は、「委員の皆様は、県民総活躍のモデルとなる方であり、地域でのご活躍を基にしたご意見やご提言を、今後の県政運営に反映していきたい」とあいさつを述べ、各委員に委嘱状を交付しました。

今後、地域ごとに委員会を開催し、県政に関わる地域の課題等について、委員の皆さんからご意見をいただくことになっています。

平成３０年度 山形県知恵袋委員会委員
～置賜地域～

飯澤 なを子 さん（長井市）
沖田　純夫 さん（南陽市）
草野　恵子 さん（高畠町）
須﨑　登志 さん（米沢市）
目黒　憲夫 さん（長井市）
八木　文明 さん（長井市）

トピックス　置賜地域の経営者に向けて知事が県政運営方針を講演　㊐総務課　0238-26-6006

講演する吉村知事

4月13日、企業経営者などを会員とする米沢・置賜経済人クラブの4月例会がホテルモントビュー米沢で開催され、吉村知事が「平成30年度の県政運営について」と題して講演を行いました。

知事は、県づくりの実行計画である短期アクションプランで掲げる７つの柱（テーマ）に沿って、6,051億円を計上した30年度当初予算のねらいや主要施策を説明しました。特に、雇用環境の改善や働き方改革が進む中、人材の確保・育成と生産性向上が喫緊の課題となっており、「人手不足対策」「ICT活用等による生産性向上」「移住定住の推進」の３つの視点から取組みを推進することを強調。県の将来ビジョンである「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向けて官民一体となって取り組んでいくとし、経済界からの理解と協力をお願いしました。

事業報告　「おきたま元気創造ラボ」第１回コアメンバー会議を開催　㊐総務課連携支援室　0238-26-6021

置賜の地域資源を再発見し、磨き上げ、発信するための官民参加型組織「おきたま元気創造ラボ」の今年度第１回コアメンバー会議が、4月20日に開催されました。

２年目を迎えた「おきたま元気創造ラボ」は、地域や住民の方々と繋がって「オール置賜」で置賜を更に元気に、そしてその魅力を発信していきます。

会議では今年度の「コアメンバー」の委嘱を行った後、今年度取組む最先行事業（以下の３つの事業）毎の班に分かれて早速話し合いが行われました。

今後は班毎に打ち合わせを重ね、今年度中の事業実施に向けて取組みを進めていきます。

コアメンバーの委嘱

「おきたま元気創造ラボ」のフェイスブック
URL：https://ja-jp.facebook.com/okitamalabo/

「おきたま元気創造ラボ」平成３０年度最先行事業		
置賜暮らしの魅力再発見事業	Yamagata Okitama Enjoy Snow Project	置賜ファン増・アピール事業
・置賜の魅力を再発見するワークショップの開催	・置賜の雪を楽しむイベントの開催	・置賜の魅力を知ってもらう農体験ツアーの開催

シリーズ　第５回　愛（あい）べさ あいべ！

◆ 男の巾着　500円　材質　絹・綿

男の巾着は、着物をほどいて制作するので、同じ柄の製品は少ないですが、様々な柄の巾着の中からお気に入りの一枚を見つけるのも楽しいです。

◆ リバーシブル帽子

800円　材質 綿　女性用

帽子はリバーシブルで、頭の形が綺麗に出るように工夫して制作しています。軽くて、かぶり心地の良い帽子です。日差しが強くなる時期の紫外線対策、熱中症予防にもおすすめです。

花工房（地域活動支援センター）

地域活動支援センター「花工房」は、スタッフ・通所生とも全員女性のみの施設です。

縫製と機織りの仕事をしながら、自立と社会復帰を目指しています。毎日、楽しく笑いの絶えない施設を心がけながら、仕事に励んでいます。

花工房では、今回ご紹介した男の巾着やリバーシブル帽子の他に、バッグ・テーブルセンター・ティッシュBOXカバー・ぬいぐるみ・カードケースなどたくさんの製品を作っており、新商品の制作・値段などみんなで協議し決めています。

㊐地域保健福祉課　0238-26-6028

募　集　案　内

やまがた緑環境税充当事業

参加者募集 第１回置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業

障がい者森林案内ボランティア養成講座

障がいごとの特性や車いす等の介助技術を学び、森林体験を希望する障がい者を案内する技術を身につけます。

障がい者森林案内体験

障がいのある方と森林案内ボランティア等が共に森林体験を行い、羽黒の森の素晴らしさを一緒に体感します。

対象者　障がいのある方と森林案内ボランティア等関心のある方どなたでも

いつ　平成３０年７月１１日（水）９：３０～１２：００

どこで　姫城公民館・羽黒の森（白鷹町山口）

障がいのある方、付添の方は１０：３０～の森林案内体験のみの参加で結構です。
荒天の場合は、森林案内体験は中止します。

日程

障がい者森林案内ボランティア養成講座
９：３０姫城公民館集合

障がい者森林案内体験
１０：３０羽黒神社集合
（Ａコース　羽黒神社から展望台への散策）
（Ｂコース　羽黒神社・大杉周辺森林浴）
１２：００解散

森林活動に親しむことが難しい障がい者が、活動範囲を広げ山の素晴らしさを体感すること、また障がい者と関わることの少ない森林案内ボランティアが、障がい者の特性や補助技術を習得し障がい者を案内することを通して、互いの〝心のバリアフリー〟を推進することを目的としています。趣旨に賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

６月２７日㈬までお申し込みください

㊐地域保健福祉課　0238-26-6028（FAX:0238-24-8155）

候補募集 里の名水・やまがた百選

県では、地域の人々に育まれてきた優れた湧水などを「里の名水・やまがた百選」として選定しています。これまでに県全体で３３か所、うち置賜地域では、慶次清水(米沢市)、滝の清水(同)、三階滝(長井市)、ブナしずく(小国町)の４か所が選定されています。

慶次清水（米沢市）

今年も６月２２日(金)まで、名水候補の募集を行っています。

応募要件は、「良好な水質と水量を有すること」、「地域住民等による保全活動が行われていること」などです。たくさんのご応募をお待ちしています。

また、見たことがある、聞いたことがある隠れた名水の情報があれば、ぜひご提供をお願いします。

○応募方法・名水百選情報：
山形県ホームページ
里の名水・やまがた百選　検索

㊐環境課　0238-26-6035

会員募集 おきたま食の応援団

「おきたま食の応援団」は、置賜産農産物を地域全体で応援する取組みを行っています。この取組みの一環として、消費者として応援していただける個人（メルマガ）会員を募集中です！会員には旬の置賜の食の情報をお届けします。

併せて、事業者会員も募集中です。

詳しくはホームページ（http://yamagata-okitama-shoku.net/index.html）をご覧ください。

また、フェイスブックには、グリーンフラッグ店や農畜産物の情報をタイムリーに掲載しています。こちらもぜひご覧ください(ＱＲコードを読み込んでいただくか、「おきたま食の応援団」で検索ください)。

フェイスブックのQRコード

おきたま食の応援団　検索

㊐「おきたま食の応援団」(事務局：農業振興課）0238-26-6051

知って得する情報

再生可能エネルギー設備導入事業費補助金について

県では、家庭や事業所における再生可能エネルギー設備の導入を促進し、温室効果ガス排出量の削減を図るため、太陽光発電設備やペレットストーブ等を導入する方に対して助成を行っています。ぜひ、ご活用ください。

■**受付期間：平成31年２月28日(木)まで**
※予算額に達した時点で終了

■**受付窓口：**特定非営利活動法人
環境ネットやまがた [県委託先]
○〒990-2421　山形市上桜田3-2-37
○TEL　023-679-3377
○URL http://eny.jp/

㊫環境課　0238-26-6102

保健だより

食中毒の原因と予防対策

これからの時期、気温・湿度が高くなってくると、食中毒の原因菌が増殖しやすくなるため「**細菌性食中毒**」に**注意が必要**です。

特に注意して頂きたいのが、鶏肉や牛肉にもともと付着している「腸管出血性大腸菌（O157、O111など）」、「カンピロバクター」、「サルモネラ」という菌です。これらの菌は動物の腸に常在しており、と殺して精肉にする過程で食肉に付着してしまいます。

これらの細菌による食中毒予防のためには、**食品の中心部は７５℃で１分以上の加熱が必要**と言われています。焼肉やバーベキューをする機会が多くなる時期ですので、自分で肉を焼いて食べる場合はしっかり加熱してから食べましょう。また肉を加熱する際は、**生肉専用のトングを使い、焼けた肉を食べる箸は生肉に触れないように**しましょう。

おう吐や下痢の症状は、原因物質を排除しようという体の防御反応です。むやみに下痢止めなどの市販薬を服用せず、早めに医師の診断を受けましょう。

㊫生活衛生課　0238-22-3740

お知らせ

夏の省エネ県民運動実施中（６月～９月）

スローガン
「早寝早起き　家族団らん　笑顔で省エネ」

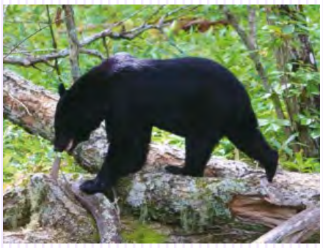
エネルギー消費が増大する夏季において、健康に十分気を付けながら、無理のない範囲で省エネの取組みをお願いします。

［家庭でできる取組み例］
冷房時の室温は28°Cを目安にする、冷蔵庫にものを詰めすぎない、シャワーの使用を１分間短縮する　など

［期間中の主な企画］
■家庭のアクション
「夏の省エネ・節電にチャレンジ」
・家庭での省エネ等の取組みを報告すると、抽選で景品がもらえます。
■省エネポスター、川柳・標語の募集
・募集期間：７月上旬～８月下旬

㊫環境課　0238-26-6033

クマに注意！



清々しい初夏を迎え、楽しい山菜採りや渓流釣り、農林作業などで里山に入る機会が多くなります。さらにクマが餌探しで本格的に活動するためか、例年６月～７月にかけてクマの目撃・出没数が**急激に増えてきます。** 次のことを確認し、遭遇した場合には冷静に対応してください。

■クマから見れば、山は自分の領分。人は侵入者です。
■ラジオやクマ鈴など音の出るもので、クマに自分の存在を知らせましょう。
■子グマには要注意！
近くに警戒している母グマがいて、大変危険です。
■万一、出合ってしまったら、背を向けずにゆっくり後退してください。
■餌付けとなる食べ物や生ゴミを山に放置しないでください。

㊫環境課　0238-26-6035

発行元
置賜総合支庁
総務企画部総務課
TEL　0238(26)6100
FAX　0238(24)1402
皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

いま・ここ・おきたま

６月は「土砂災害防止月間」です。土砂災害から命を守るためには、日頃からの備えと早めの避難が大事です。山形県と国土交通省では６月１日（金）から９月１５日（土）まで「土砂災害防止に関する絵画・作文」と「河川安全利用に関する絵画」を募集しています。防災について、親子で話し合う機会としてはいかがでしょうか。

（西置賜河川砂防課）

平成29年度　県最優秀作品